

令和6年6月26日

第1回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議

「治療と仕事の両立支援・復職支援の取り組みについて」 ～堺市高次脳機能障害支援拠点機関の取り組み～

堺市立健康福祉プラザ
生活リハビリテーションセンター
支援コーディネーター 西脇 和美

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
Social Independence Rehabilitation Center

堺市

人口：808,017人（2024.5）
（男性 384,209人 女性 424,470人）
面積：149.82 km²

救急医療機関（高度急性期） 7病院
（2024.5）

回復期リハ病棟 10病院

障害福祉サービス（2024.5）
就労移行 18事業所
就労継続支援（A型） 15事業所
就労継続支援（B型） 131事業所
生活介護 99事業所



堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
Social Independence Rehabilitation Center

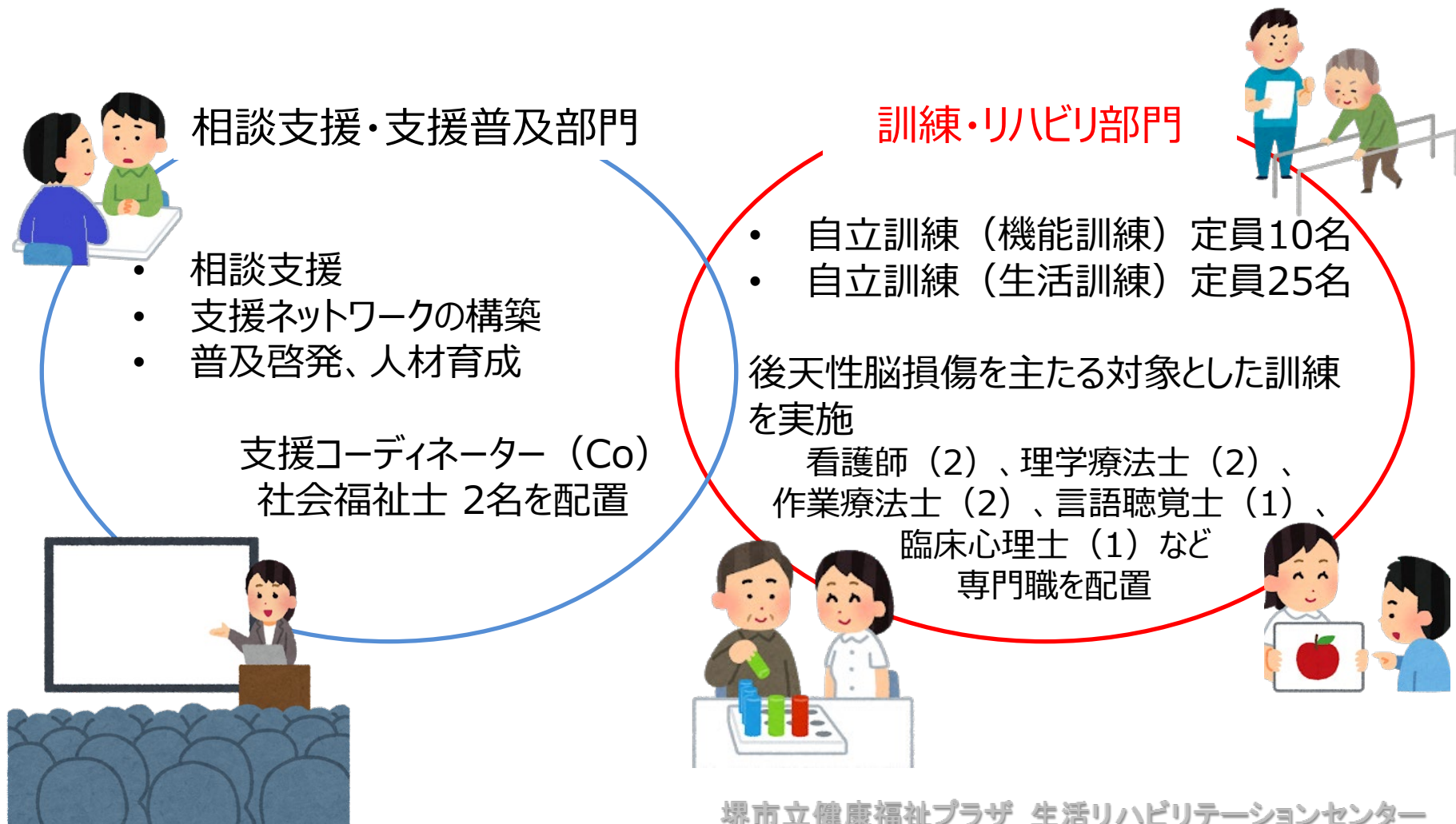
堺市立健康福祉プラザ

・第3次堺市障害者長期計画の基本理念である「障害者が住み慣れた地域で、主体的に、共生、協働のもと生き活きと輝いて暮らせる社会の実現」をめざして整備。政令市福祉行政3施設、重心施設の3機関12センターの複合体となっている。

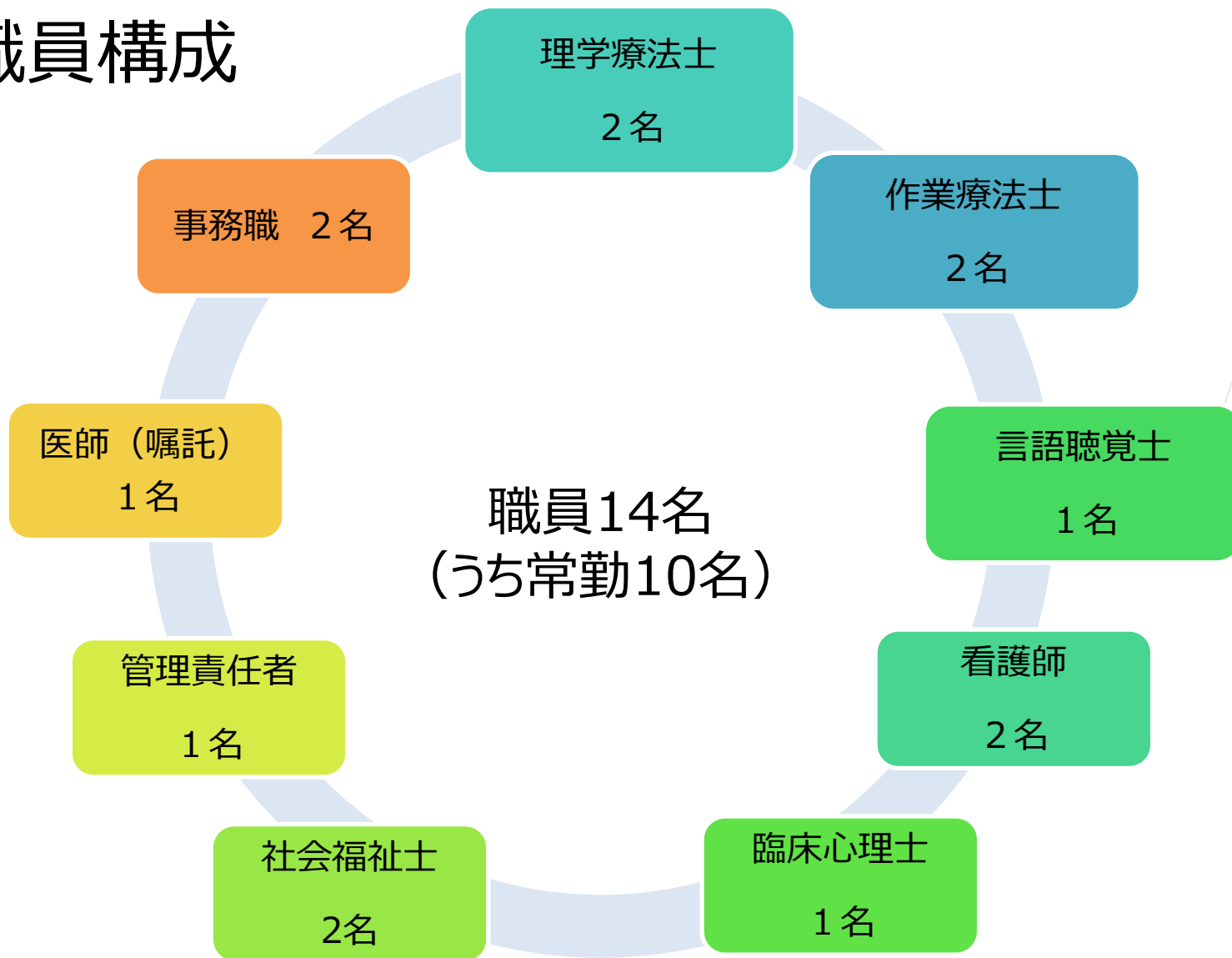
	センター名称	業務内容		センター名称	業務内容
健康福祉センター	市民交流センター (市民交流センター・授産活動支援センター)	市民交流センター:文化芸術・レクリエーション事業、ボランティア養成・育成、施設の利用貸出(研修室、クッキングルーム、クラフトルーム)等 授産活動支援センター:障害者就労施設への業務斡旋や授産製品の販路開拓等	健康福祉センター	発達障害者支援センター	発達障害者(児)やその家族及び関係機関からの相談等に対する助言・指導、情報提供、啓発普及等
	スポーツセンター	スポーツ・レクリエーション事業、障害者スポーツ振興事業、施設の利用貸出(プール・体育室・トレーニング室)等		難病患者支援センター	難病患者及びその家族への学習会(講演会)・医療相談・交流会の開催、当事者による相談支援、情報提供、普及啓発等
	視覚・聴覚障害者センター (点字図書館・聴覚障害者情報提供施設)	視覚・聴覚障害者に対する点字図書・字幕入りビデオ等の貸出、ボランティア養成・育成、コミュニケーション支援等	重症心身障害者(児)支援センター『ベルデさかい』		重症心身障害者(児)に対する入所・短期入所、通所、相談支援、外来リハビリテーション等
	生活リハビリテーションセンター	障害者に対する各種機能訓練・生活訓練、高次脳機能障害に関する相談支援、情報提供、普及啓発等	行政機関	子ども相談所	18歳未満の子どもに関する児童虐待や非行、不登校、障害など各種専門相談等
	総合相談情報センター	障害に関する総合的な相談支援、地域の複雑困難な相談への技術指導・支援、各種情報の収集・集約・発信等		障害者更生相談所	18歳以上の身体障害者・知的障害者に対する補装具や療育手帳などの判定や各種専門相談等
	障害者就業・生活支援センター 『エマリス堺』	就労を希望する障害者への就業生活・日常生活・社会生活の総合的支援、就職や職場定着支援等		こころの健康センター	精神障害者に対する保健福祉手帳などの判定や、精神保健福祉に関する各種専門相談、情報提供、普及啓発等

生活リハビリテーションセンターの機能

堺市高次脳機能障害支援拠点機関



職員構成



支援拠点機関の日常的連携（ネットワークの現状）

医療



堺市立総合医療センター
市内回復期医療機関
市外回復期医療機関
かかりつけ医

大阪府高次脳機能
障がい支援拠点機関



就労



障害者就業・生活支援センター（エマリス堺）
大阪障害者職業センター（南支所）
ハローワーク堺
就労移行支援事業所・就労継続支援事業所

相談

行政機関
総合相談情報センター
各区基幹相談支援センター
指定相談支援事業所
ケアプランセンター



介護

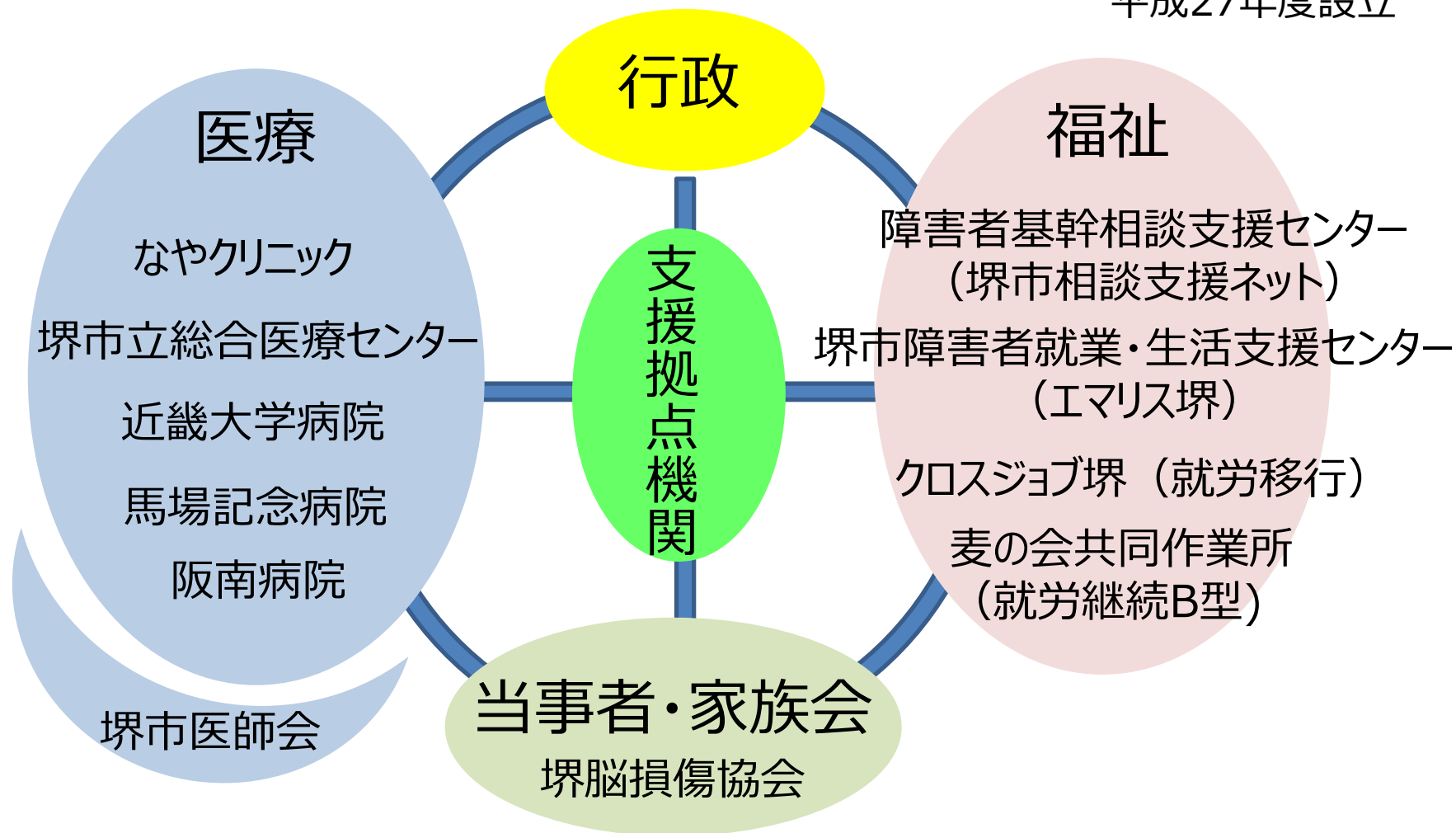
デイケアサービス事業所
デイサービス事業所
訪問リハ
生活介護

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
Social Independence Rehabilitation Center

医療・福祉連携モデルの具体例

生活リハビリテーションセンター運営委員会

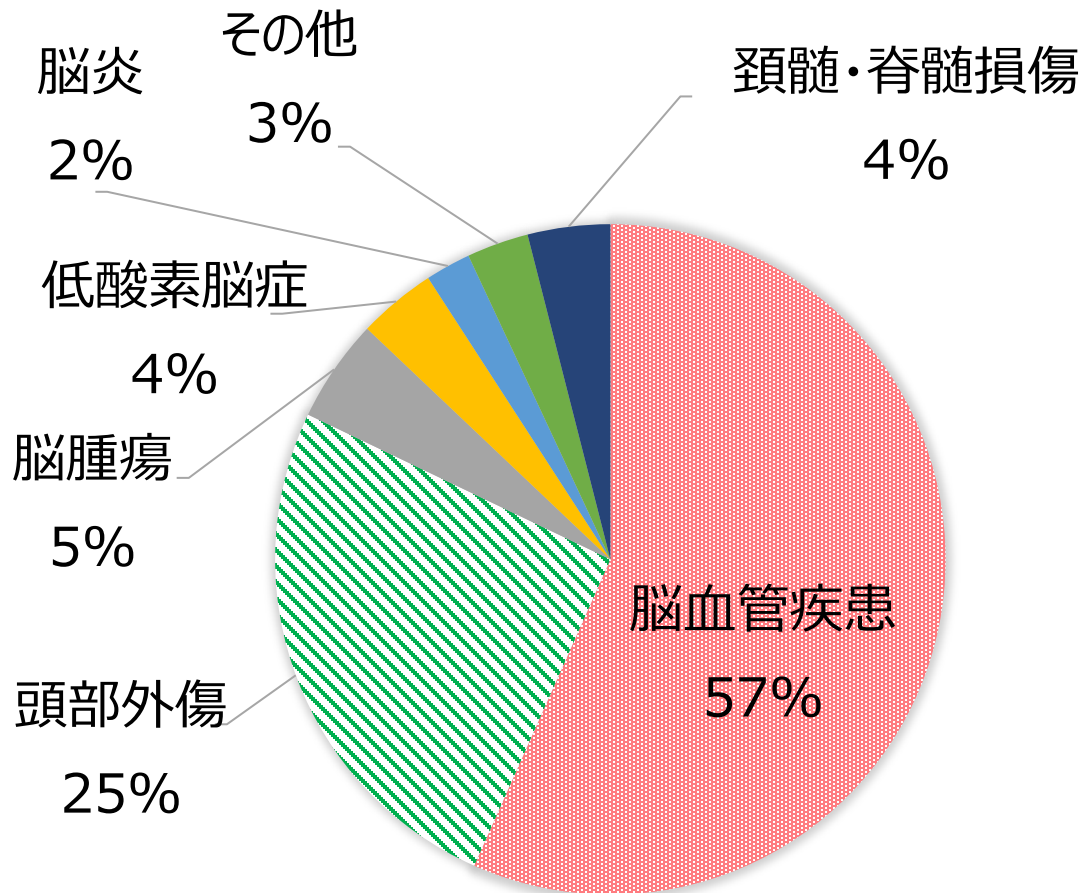
平成27年度設立



堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
Social Independence Rehabilitation Center

利用者の原因疾患

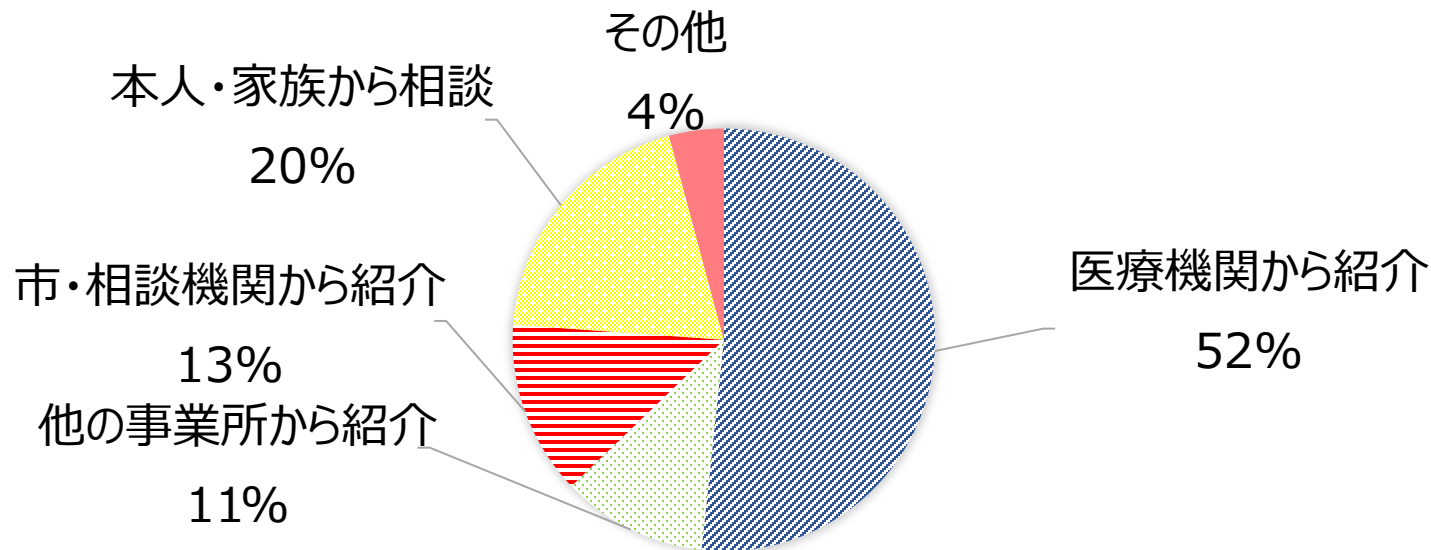
(H24.5～R6.3 n=503)



原因疾患	人数
脳血管疾患	285
頭部外傷	128
脳腫瘍	25
低酸素脳症	19
脳炎	11
その他	15
頸髄・脊髄損傷	20
合計	503

訓練利用者の内訳
(R6.3 末)

利用者の利用に至った経緯 (n=503 H24.5～R6.3)

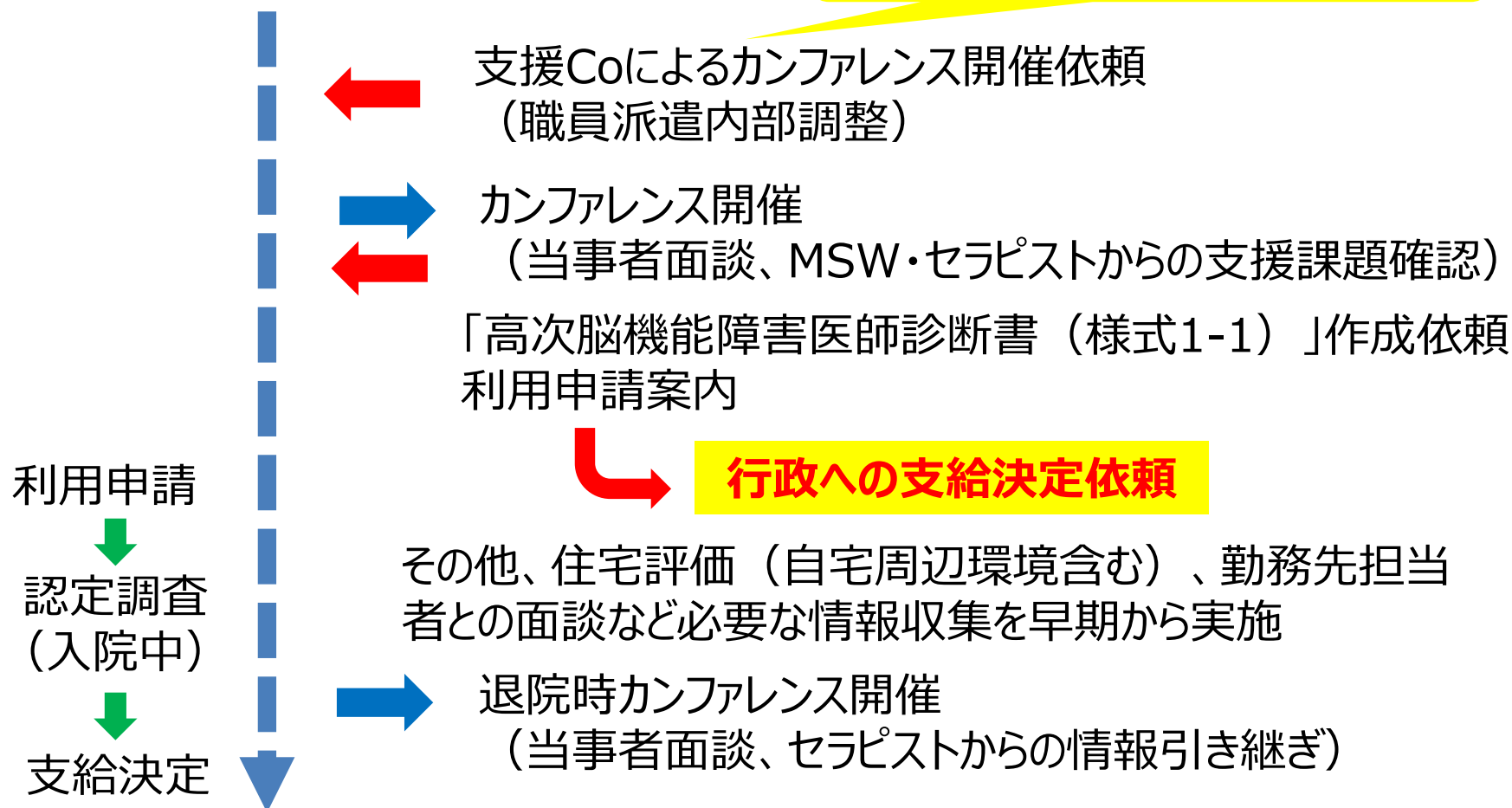


	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	合計
医療機関からの紹介	10	14	25	24	29	24	30	29	22	13	23	17	260
他の事業所からの紹介	8	8	9	5	5	4	3	3	2	0	7	2	56
市・相談機関からの紹介	6	9	10	8	6	1	4	4	4	7	1	7	67
本人・家族から相談	20	6	9	2	9	8	6	12	8	3	9	7	99
その他	3	2	0	2	2	3	2	0	0	0	0	7	21
合計	47	39	53	41	51	40	45	48	36	23	40	40	503

センターと医療機関との連携例

リハ病院MSWからの相談
(退院1.5M前が理想)

PT・OT・ST・CP・NSのいずれかと
支援Coの組み合わせが一般的



退院 自立訓練利用開始

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
Social Independence Rehabilitation Center

復職支援の連携例

利用開始

(復職まで1年～1年半)

利用開始後すぐ



- ・職場担当者の確認
- ・復職に向けた支援について説明と職場訪問の相談
- ・就業規則等の情報収集

事業所内訓練

復職3ヶ月前



- 会社訪問
- ・リハビリテーション報告書を提出
 - ・想定される業務内容の確認
 - ・通勤練習

復職

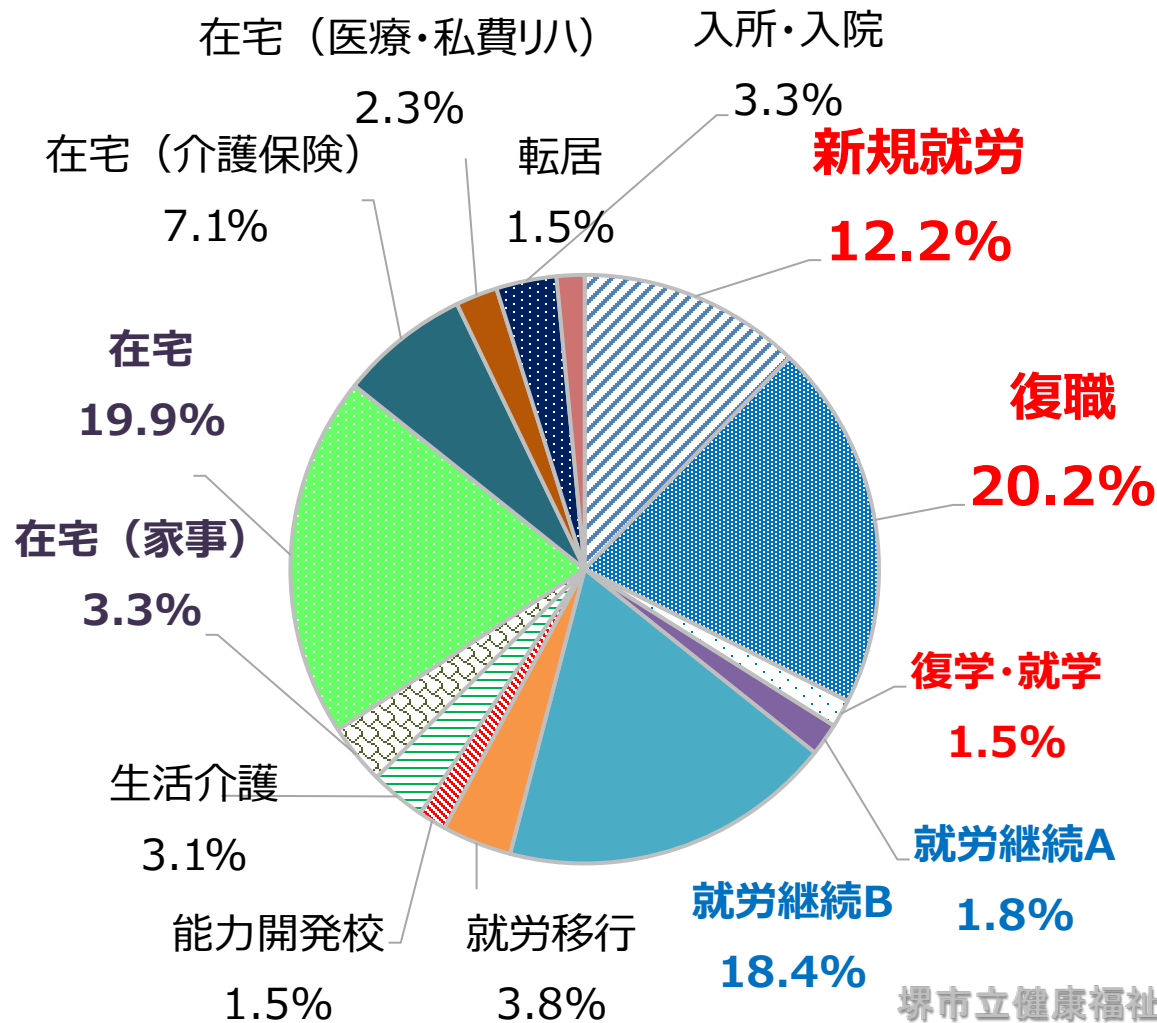
- フォローアップ
- ・定期面談
 - ・職場との情報共有

復職後6ヶ月間

継続就労

利用後の進路

退所者の帰結 (H24.5～R6.3) n=431

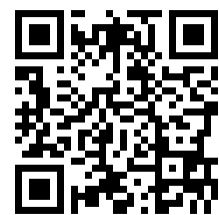


帰結	人数
新規就労	51
復職	93
復学・就学	6
就労移行	15
能力開発校	6
就労継続A	10
就労継続B	74
生活介護	14
在宅 (家事)	13
在宅	88
在宅 (介護保険)	31
在宅 (医療・私費)	10
入所・入院	14
転居	6

まとめ

- 医療機関での集中的、効果的リハビリテーションの成果を発症前の地域生活で発揮するためには、一定の準備期間が必要。
- 「仕事はリハビリにはなりません」：実社会での失敗体験は、就労意欲を減退させ自己肯定感の低下からメンタル不調の要因となる可能性がある。
- 「クスリよりお金」：経済的保障（安心できる）のある期間に十分な社会復帰への準備を行うこと。
- 社会復帰をめざすならば、セラピストによるリハビリ（特に長期間の自宅での訪問リハ）から、同じ課題を持つグループ活動を通じたセルフマネジメント能力の獲得が重要。

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター (堺市高次脳機能障害支援拠点機関)



堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3-1
(堺市立健康福祉プラザ4階)

電話: 072-275-5019

FAX: 072-243-0202

E-mail: seikatsu-reha@sakai-kfp.info

開館日 月～金曜日 9:00～17:30

休館日 土曜・日曜・祝祭日・年末年始

第1・3日曜日午前は休日相談(予約制)

JR 百舌鳥または上野芝から徒歩15分
南海バス「塩穴通」または「旭ヶ丘」

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
Social Independence Rehabilitation Center

治療と仕事の両立支援・復職支援の取組について ～事例紹介～

独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪労災病院

メディカルサポートセンター MSW

安部 成美（社会福祉士）

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター

高次脳機能障害支援コーディネーター

別府 知代（社会福祉士）